

第1号様式（第7条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

| | | |
|---|--|---|
| (宛 先) 京 都 市 長 | | 平成28年 7月22日 |
| 報告者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都市上京区堀川通寺之内上る四丁目天神北町1 番地の1 | | 報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） 株式会社 SCREENホールディングス 取締役社長 垣内 永次 電話 075-414-7120 |
| 京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。 | | |
| 環境マネジメントシステムの名称 | ISO14001 / ISO50001 | |
| 適用範囲 | SCREENホールディングス全体（国内グループ会社含む） ISO50001は京都滋賀のSCREEN事業所 | |
| 導入年月日 | ISO14001 1997年 2月 26日 / ISO50001 2010年 7月16日 | |
| 認証番号 | ISO14001 : EMS549649 ISO5001 : EnMS562552 | |
| 基本方針 | 「SCREENグループCSR憲章」<3. 「人と地球に優しい環境形成」のSCREENグループは、地球温暖化や化学物質汚染などの環境問題を、社会の持続可能な発展への本質的な課題と捉え、人と地球に優しい環境形成を意識した事業活動に取り組みます。>の基で、SCREENグループは、製品・活動・サービスを通じて、a. 環境負荷の低減に貢献する技術・製品の開発展開 b. 職場の健康と安全の推進 c. 工場とオフィスの環境保全と省エネルギー d. 防災と事業復旧体制の整備の目的達成に努める。 | |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。） | 平成26年～平成28年（2014～2016年）度目標 ・エネルギー起因のCO2排出量削減（出荷重量原単位：ベースライン比の3.0%以上削減） ・社外排出物の削減（出荷重量原単位：ベースライン比の3.0%以上削減） ・環境マネジメントの推進（グリーンバリューアワードの実施推進） ・環境負荷の低減に貢献する技術・製品の開発展開（グリーンプロダクツの売上占有率85%以上、製品使用時における消費エネルギーを2009年度比で50%以上削減） ・職場の健康と安全の推進 ・防災と事業復旧体制の整備 詳細は、 http://www.screen.co.jp/csr/management/target.html | |
| 目標を達成するための取組の内容 | CO2削減：省エネ活動（不要時の消灯、空調の停止、定時退社の推進）の継続、エネルギー分科会にて、節電対策の検討・実施（設備更新、改修、運用改善策）、太陽光パネルの設置、 排出物削減：排出物量の把握・管理、梱包材の削減 グリーンプロダクツの推進、モーダルシフトや梱包材の軽量化により、製品輸送に伴うCO2排出量削減 各種委員会・分科会及び活動組織における活動計画の策定 | |
| 目標を達成するための取組の進捗状況 | 各種委員会・分科会及び活動組織における活動計画の進捗確認を四半期ごとに実施し、計画内容の実施に遅延等がないことを確認している。 | |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価 | 平成27年（2015年）度実績 ・エネルギー起因のCO2排出量の削減：出荷重量原単位で22.5%の削減 ・社外排出物の削減：出荷重量原単位で18.9%の削減 ・環境マネジメントの推進：グリーンバリューアワードの表彰 EHS管理統括者賞：3件、奨励賞：4件、努力賞：2件 ・グリーンプロダクツの売上占有率：92% 詳細は、 http://www.screen.co.jp/csr/report/list.html に7月末公開予定の経営レポート2016 | |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況 | SCREENグループにおいて、2015年度には、3件の法令順守に問題が生じたが、いずれも原因の特定、是正・予防処置の実施など適切に処置を行った。 | |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容 | マネジメントシステムの評価及び見直しは、毎年定期に実施。 2015年度は、2016年1月28日にマネジメントレビューを行い、マネジメントシステムの適合性、妥当性、有効性を確認した。経営層からは、ISO14001:2015（改訂版）への移行準備の指示があった。 | |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。